

三ヶ根駅の将来を考える未来会議, 始まる



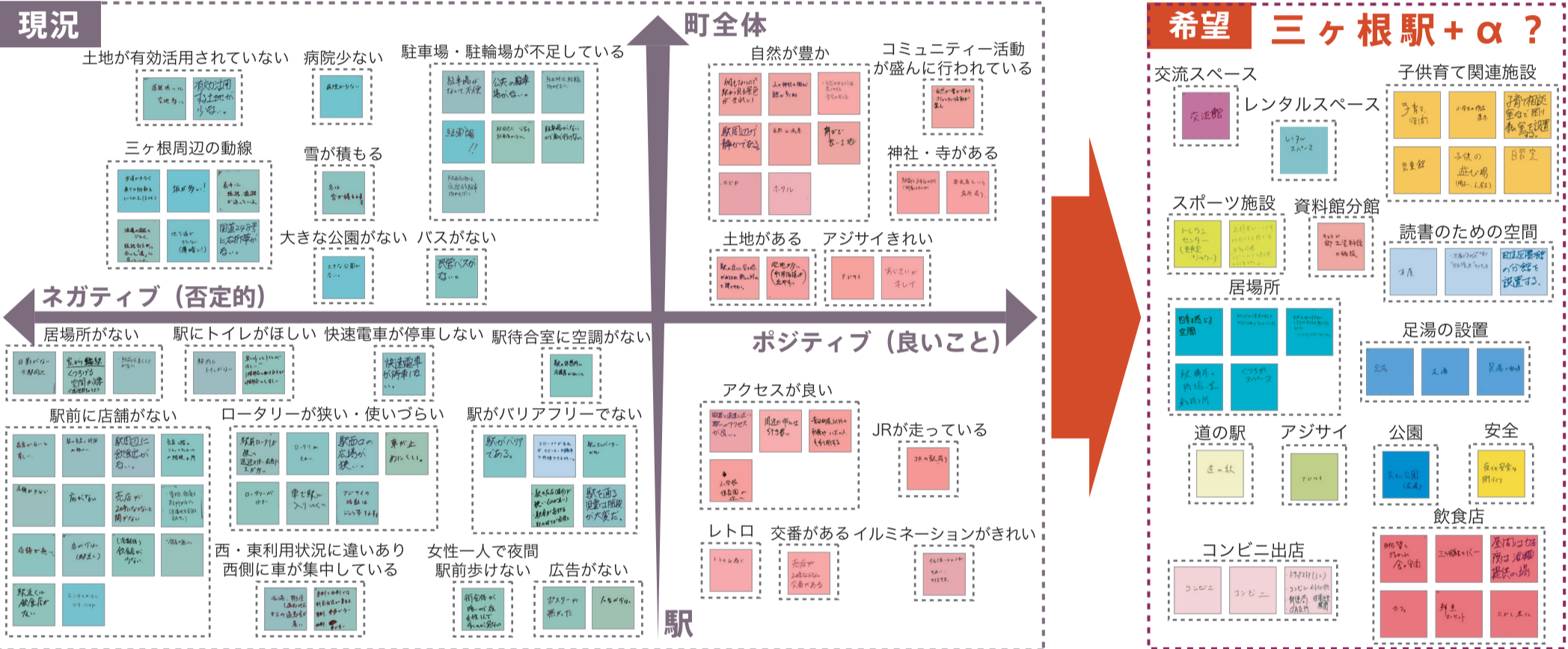
三ヶ根駅未来会議

2019年(令和元年)6月13日(木)
発行元: 幸田町役場 企画政策課

【幸田町】三ヶ根駅の将来を考える事業が始まる。無人駅であり、主に通勤通学客に朝晩使用されている。駅は谷と国道・県道に挟まれる深溝の中心に位置し、橋上駅構内は小学生の通学路でもある。
この度、駅構内エレベーターの設置に伴う駅改修が計画された。幸田町・深溝地区の住民・駅利用者にとって、本当に必要な機能とはなにか? 会議を行い、新しい駅を計画する。



第0回未来会議(関係者限定のお試し版)において、現在の三ヶ根駅の良いところを皆で出し合い共有する町民と、司会の川西氏(右) 里中央コミュニティホームにて



付箋を使い、各テーブルごとに議論をしている様子

三ヶ根駅の現状を把握する
午後2時より里中央コミュニティホームにて行われた「第0回未来会議」には、町民や学生など21人集まった。第0回は、行政関係者や一部関係者のみを対象に、試験的に実施した「お試し版」。

未来会議とは、世代や立場を越えて議論を行う方法である。全ての参加者が「これは自分のプロジェクトである」と認識することにより、地域の見えないニーズを丁寧に汲み取ることが可能となる。

今回のテーマである「三ヶ根駅・深溝地区の良い点と課題点」を参加者で考える時間を取り、参加者どうしで話し合いを行った。結果は上図の通りである。

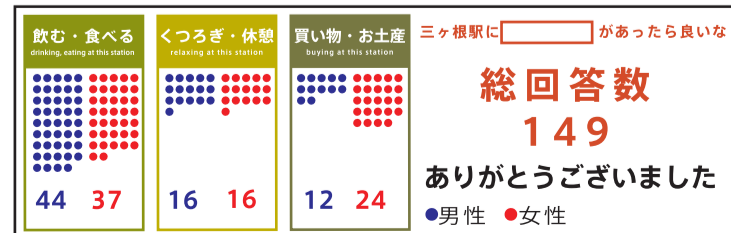
多かっただ意見として「お店がない」「駐車場・駐輪場がない」「ロータリーが狭い」「使いづらい」といった利便性のものや、「夜道が暗い」「子供の遊ぶ場所がない」など、安全性や、子育てに関する意見もあげられた。

一方で、「自然が多い」「周辺都市へのアクセスの良さ」等、駅周辺の良い点もあげられた。あげられた意見は「町全体」の軸、「ポジティブ・ネガティブ」の軸で分類した。参加者で毎日駅を利用している方は一人しかいなかった。

三ヶ根駅未来会議【第1回】7/10水お申込みこちら是非お越しください



さわやかウォーキング当日出店ブースにて参加者へアンケートを実施



当日は町の方からも沢山の意見を頂くことが出来たので、いくつか紹介する。
「駅前は見所を紹介する場所にしたらい」参加者「カラオケをしに三ヶ根によく来る」地元高校生「現在の更地に以前は喫茶店があったが、利用者は常連以外ほとんどいなかった」町研メンバー「歩いて来れる場所に飲食店がほしい」近隣住民「学校の帰りに少しお喋りしたり、車や電車を待つ場所がない」地元中学生

さわやかウォーキング当日アンケート実施
6月15日(土)JR東海が主催する「さわやかウォーキング」が開催された。今回は三ヶ根駅・三ヶ根駅間の約9km。午前9時半より三ヶ根駅前にまちづくり研究会のメンバーと町民の有志が集まり、ウォーキング参加者に向けてみたらし団子の無料配布や、お土産の野菜などを準備した。それに合わせて左に掲げた簡単なアンケートを実施し、ウォーキング参加者たちへ三ヶ根駅に必要なものは何かをヒアリングした。これは町の外から来た人たちに深溝地区・三ヶ根駅のイメージを伺うことで、町の外からも意見を集めることを目的としている。

当日は雨が降ったり止んだりを繰り返す悪天候だったこともあり、参加者は普段より少なかったようだが、みたらし団子を食べる参加者は快くアンケートに答えてくれた。結果は総回答数が149で、そのうち「飲食」が圧倒的で81票、「くつろぎ」が32票、「買い物」が36票だった。駅周辺にコンビニがなく、飲み物や軽食を買える場を欲していることがわかった。

さわやかウォーキング当日アンケート実施